

平成27年度

若者と連携した魅力ある商店街づくり事業

事業報告書

平成28年 3月31日

豊栄駅前通商店街振興組合

# 目 次

●平成27年度「若者と連携した魅力ある商店街づくり事業」

●平成27年度活動状況一覧

●事業推進のステップ

PHASE 1 「調査」

PHASE 2 「検討」

PHASE 3 「提案」

●提案書

具体案A. 商店街内の新しい拠点の開設

具体案B. イベントに絡めた新しいソフト事業活動

具体案C. 地域と若者とをつなぐ新しいコミュニケーションツール

具体案D. 居住環境の改善を含む世代間交流

第八回学生チームWS ワークシート（A～D）

●資料編

活動状況

収支決算書

参加者名簿

## ●平成27年度「若者と連携した魅力ある商店街づくり事業」

### (1) 事業の背景

これまでの取組

#### ◎医療福祉大学まちなかキャンパス「街の駅」(H22~H25)

窓口 : 北区健康福祉課

構成 : 新潟医療福祉大学、自治会連合会、商店街振興組合、青年会議所、北区観光協会  
北区社会福祉協議会との連携による運営委員会設置

利用実態 : 地域住民、商店街利用者と若者が交流するスペース(昼間中高年齢者層多)  
→現在閉鎖、事業期間終了のため事業予算確保できず終了

#### ◎自治協議会提案事業「まちなか賑わい創出事業」(H25)

窓口 : 北区地域課

構成 : 自治協議会 — まちづくり構想検討委員会 — 市民プロジェクト  
まちづくり構想検討委員会(学識経験者、自治会関係者、関係団体、自治協委員)  
市民プロジェクト(関係商店街関係者+学生、地域住民、関係団体有志)

→学生は事務局中心であり議論する機会は少なかった。

議論しても意見の中心は中高年齢者層となるため、若者の意見が反映されにくかった。

#### ◎今後の方向性

商店街振興組合として、空き店舗等を活用したコミュニティカフェや交流拠点となるスペースの設置運営を自治協議会に提案する。

### (2) 事業のポイント (これまでの取組による反省を含めたポイントを示す)

◎プラットフォーム → 今後の各種若者連会事業を行う上での「母体」となる体制づくり

◎持続性 → 事業期間終了後も継続できる、自立採算性、財源・人材の確保

◎主体性 → 若者が事業に参加するのではなく、自分達の企画として主体的に運営できる事業

◎対価性 → 活動する若者、関係者にもメリットのある活動として、報酬も想定する

◎多様性 → 将来的には多くの若者(小中高高校生含む)が参画できる組織化

### (3) 事業目的

若者が求めるもの、購買したくなる店づくりという視点で、北区在住の若者と商店街関係者が意見交換を深め、街の活性化事業に結びつける。

◎短期的目的 : 若者の意見交換を行う機会を作る運営組織としての役割

◎長期的目的 : 豊栄地区(北区)における今後の事業展開の核となるプラットフォームとしての体制づくりと人材育成の場としての役割

### (4) 事業概要

街としての賑わいを創出するために、商店街関係者・若手経営者・大学生との連携で、具体的に魅力的な商店街機能を模索し整理する。そのため、学生チーム・合同検討会を運営し意見のとりまとめ業務を行う。次年度以降の事業化推進のための手順及び推進体制の提案と具体化を行う。

(5) 事業計画

◎事業の進め方

- ①現役商店街関係者、若手経営者、学生からなる「学生チーム」の設置
- ②「学生チーム」を中心としたワークショップの実施
- ③「合同検討会」を経て、賑わい創出のための「提言書」のとりまとめ

◎事業体制

- ①「学生チーム」の組織化と月1回程度のワークショップ
- ②「合同検討会」として、地域関係者との意見交換会による共通認識形成を行う場づくり  
→ 学生チームのWSを基礎としつつ、事業計画策定を目指す

◎スケジュール

- 【平成27年度】6～9月 現状分析・若者にとって魅力ある商店街とは何か？を整理する。  
8～11月 上記の議論を踏まえた上で、商店街の課題を分析する。  
11～3月 課題解決のための具体的な提案を検討する。
- 【平成28年度】4～3月 提案の実現に向けて、具体的な検討をし、行動する。

(6) 事業対象

豊栄駅前通商店街振興組合（特に次世代を担う若手経営者）  
新潟医療福祉大学（現役、OBを含め幅広く人材を募集する）  
北区産業振興課（事務局補助）  
想定協力団体（自治協議会、コミュニティ協議会、社会福祉協議会、商工会、青年会議所  
自治会、学校、地域住民、その他関係団体、他地域団体など）

(7) 活動場所

豊栄駅前通商店街エリアを中心とし、活動拠点となり得るスペースを確保する

(8) 事業予算

豊栄駅前通商店街振興組合への委託料	324,000円
豊栄駅前通商店街振興組合 活性化事業費	200,000円
<u>(株)まちづくり豊栄 まちづくり事業費</u>	<u>200,000円</u>
合計	724,000円

(9) 想定される成果

若者の意見交換の場  
合同検討会により、若者・商店街関係者・若手経営者との意見交換の場  
若者からの商店街活性化への提言書

●平成27年度活動状況一覧

平成27年 6月18日(木)	第一回学生チームWS	オリエンテーション、WS
平成27年 7月10日(金)	第二回学生チームWS	情報交換WS → PHASE1「調査」
平成27年 8月21日(金)	第1回合同検討会	オリエンテーション、意見交換会
平成27年 9月 5日(土)	学生チーム研修会	葛塚祭民謡流し、地域情報研修
平成27年 9月11日(金)	第三回学生チームWS	課題抽出WS
平成27年10月 9日(金)	第四回学生チームWS	情報交換WS → PHASE2「検討」
平成27年11月13日(金)	第2回合同検討会	「調査」「検討」段階の意見交換会
平成27年12月11日(金)	第五回学生チームWS	提案検討WS
平成28年 1月15日(金)	第六回学生チームWS	情報交換WS → PHASE3「提案」
平成28年 2月12日(金)	第3回合同検討会	「提案」段階の意見交換会
平成28年 2月19日(金)	第七回学生チームWS	合同検討会を受けて「提案」の整理
平成28年 2月15日(月)	とよさか未来塾第1回	コミュニティビジネス入門講座
平成28年 2月22日(月)	とよさか未来塾第2回	コミュニティビジネス入門講座
平成28年 2月29日(月)	とよさか未来塾第3回	コミュニティビジネス入門講座
平成28年 3月 3日(木)	先進地視察研修	首都圏先進地(地域拠点分野)
平成28年 3月11日(金)	第八回学生チームWS	今年度最終報告書の整理

(1) 学生チームWS

メンバー構成：医療福祉大学生（8名）医療福祉大学OB（1名）

地元高校生（1名）地元商店後継者（1名） 計 11名

事務局：豊栄駅前通商店街振興組合理事（3名）組合員（1名）

新潟市北区産業振興課（2名） 計 6名

会場：豊栄駅前通商店街内店舗

WS実施内容：18：30～19：00 まかない及び準備作業

19：00～21：00 ワークショップ

※ワークショップ（2H）については、アルバイト料として報酬支給

WSテーマ：第一回 「自分達が魅力的と感じる街には、何があるのか？」

第二回 「この街がもっと魅力的な街になるためには、何が必要か？」

第三回 「合同検討会の意見を集約して、ポイント（視点）を明確にしよう！」

第四回 「コンセプトを整理し、必要な機能を具体化せよ！」

第五回 「合同検討会の意見を反映させて、必要な機能を具体化せよ！」

第六回 「必要な機能を具体化し、提案資料となるべき内容を目指せ！」

第七回 「合同検討会の意見を整理し、提案項目を絞り込み内容を検討しよう！」

第八回 「今年度の最終成果品として、提案内容を確認しよう！」

(2) 合同検討会

メンバー構成：地域コミュニティ（2名）商工会青年部女性部（4名）青年会議所（1名）  
社会福祉協議会（1名）地元商店街（8名）(株)まちづくり豊栄（1名）  
行政関係者（2名）新潟医療福祉大学（1名） 計 20名

事務局：豊栄駅前通商店街振興組合理事（3名）組合員（1名）  
(株)まちづくり豊栄（1名）新潟市北区産業振興課（2名） 計 7名

会場：豊栄商工会館2F第1研修室

会議実施内容：18:30~19:00 まかない及び準備作業  
19:00~21:00 意見交換会

会議テーマ：第1回 「この街がもっと魅力的な街になるためには、何が必要か？」  
学生チームの認識を踏まえて、自由な意見交換を行う。

第2回 「コンセプトを整理し、必要な機能を具体化せよ！」  
学生チームの整理を踏まえて、自由な意見交換を行う。

第3回 「事業の具体化を目指す視点を確認しよう！」  
学生チームの提案書原案に対して、自由な意見交換を行う。

(3) 各種研修会

◎学生チーム研修会

平成27年 9月 5日（土） 会場：豊栄駅前通商店街内店舗

テーマ：①これまでのWSの議論した内容を再確認する

- ②「北区お宝ものがたり」より抜粋した地域関係資料を確認し地域を再確認する
- ③「葛塚祭の民謡流し」に直接触れて、地域の雰囲気を経験する

◎とよさか未来塾（コミュニティビジネス入門講座） 主催：豊栄地区公民館

平成28年 2月15日、22日、29日（月）3回シリーズ 会場：豊栄地区公民館

目的：①「地域を元気にするコミュニティビジネス」の知識を深める

- ②若者連携事業の「地域の拠点」という具体的な提案の内容を深める
- ③今後の提案具体化のため地域関係者との連携を始める

◎首都圏先進地視察（地域拠点分野） 主催：豊栄商店会連合会

平成28年 3月 3日（木）～4日（金）

目的：①首都圏にある「コミュニティカフェ」を中心とした「地域拠点」を視察する

- ②「地域拠点」を運営する団体との質疑応答を含めた調査を行う
- ③若者連携事業の「地域の拠点」に採用できる手法の可能性を探る

(4) 広報活動

◎(株)まちづくり豊栄の協力を得て、HP内に当事業の活動を随時紹介、議事録をアップ  
<http://www.toyosaka-tmo.com/machinaka27/>

## ●事業推進のステップ

### PHASE 1 「調査」

「自分達が魅力的と感じる街には、何があるのか？」

「この街がもっと魅力的な街になるためには、何が必要か？」

第1回合同検討会議事録より

- ・自分達の街の「明確なイメージ」を創りあげることに優先して取り組んだほうが良い。
  - ・「〇〇な街」というようなイメージや街の色を明確にし、対外的なアピールが必要だ。
- ※若者が求める魅力づくり、施設づくり。若者が企画し参加できるイベントの企画提案。
- 世代間交流・異文化国際交流。滞留し長居のできる場所。学生が集まって活動できる場所。
- アルバイトができる職場。単身者・若者の食生活を支える業種（ファストフード、カフェ含む）
- 若者の能力を生かすことができる場、機会。若者の利用できる交通手段。

### PHASE 2 「検討」

「合同検討会の意見を集約して、ポイント（視点）を明確にしよう！」

「コンセプトを整理し、必要な機能を具体化せよ！」

第2回合同検討会議事録より

- ・新しいスポーツを開拓しよう！
  - 施設（ハード）よりもソフト開発から。街歩きも絡めたゲーム化や文化的ソフトも検討。
- ・学生・若者に優しい街にしよう！
  - 地域からの情報発信が必要。商店街や自治会からのアプローチが効果的。
- ・世代間交流ができる施設を作ろう！
  - 街の駅やカフェ的な拠点整備。シェアハウス・高齢者住宅など居住環境の整備。
- ・元気な高齢者を活用しよう！
  - 既に多くの高齢者が活躍している。地域の情報が若者に伝わっていない。
  - ボランティアからビジネスへの移行という取組で、地域全体への波及を検討すべき。

### PHASE 3 「提案」

「合同検討会の意見を整理し、提案項目を絞り込み内容を検討しよう！」

「今年度の最終成果品として、提案内容を確認しよう！」

第3回合同検討会議事録より

資料編A～D参照

#### A. 商店街内の新しい拠点の開設

- カフェや小箱ショップなど、場所自体に魅力ある機能を持たせた「拠点」を検討せよ。

#### B. イベントに絡めた新しいソフト事業活動

- 対外的にアピールできる活動は、中心となる団体や個人の活力を支援する方法が効果的。

#### C. 地域と若者とをつなぐ新しいコミュニケーションツール

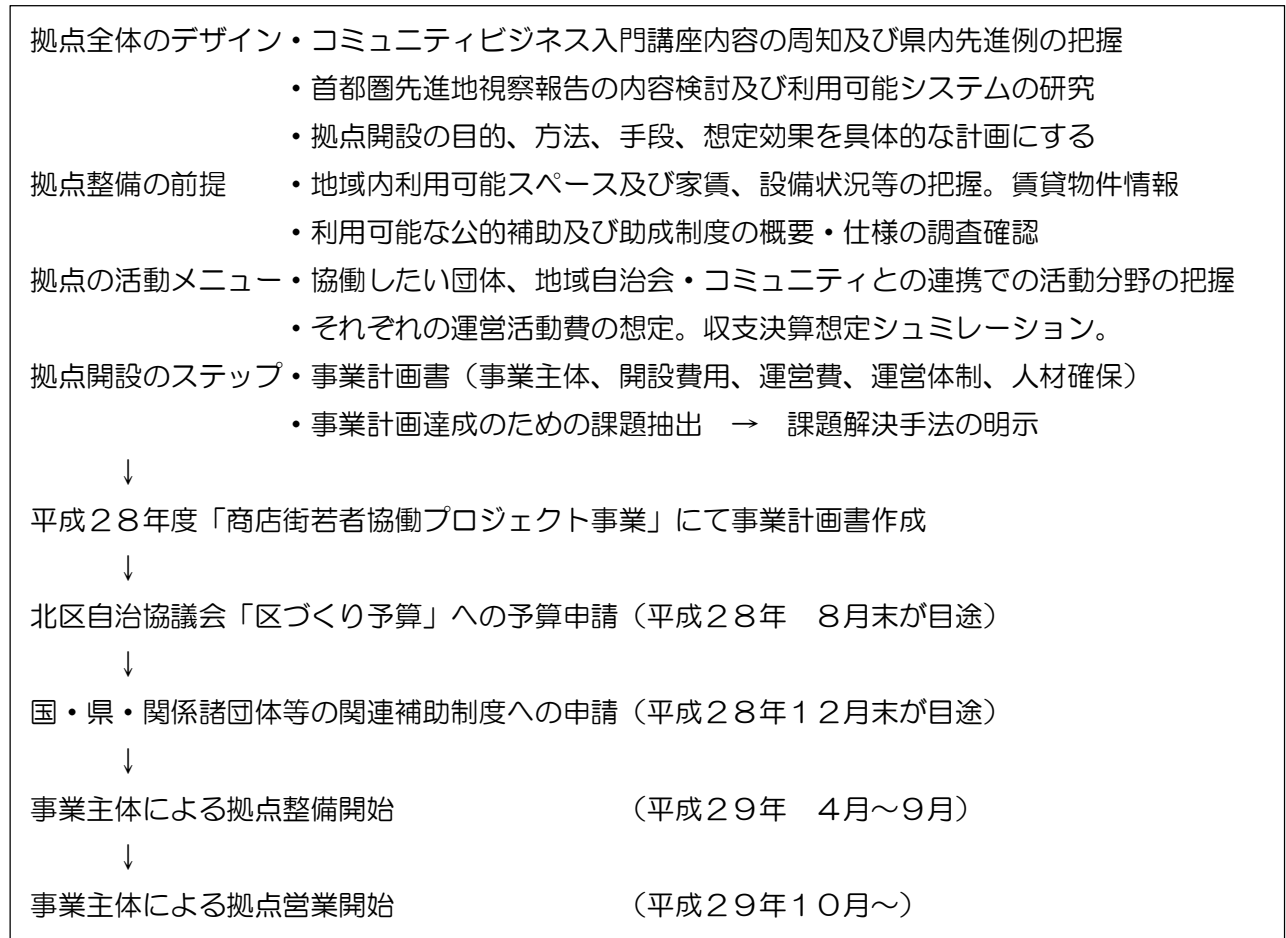
- SNS利用等の方法も検討するが、掲示板などのアナログな方法のほうが期待できる。

#### D. 居住環境の改善を含む世代間交流

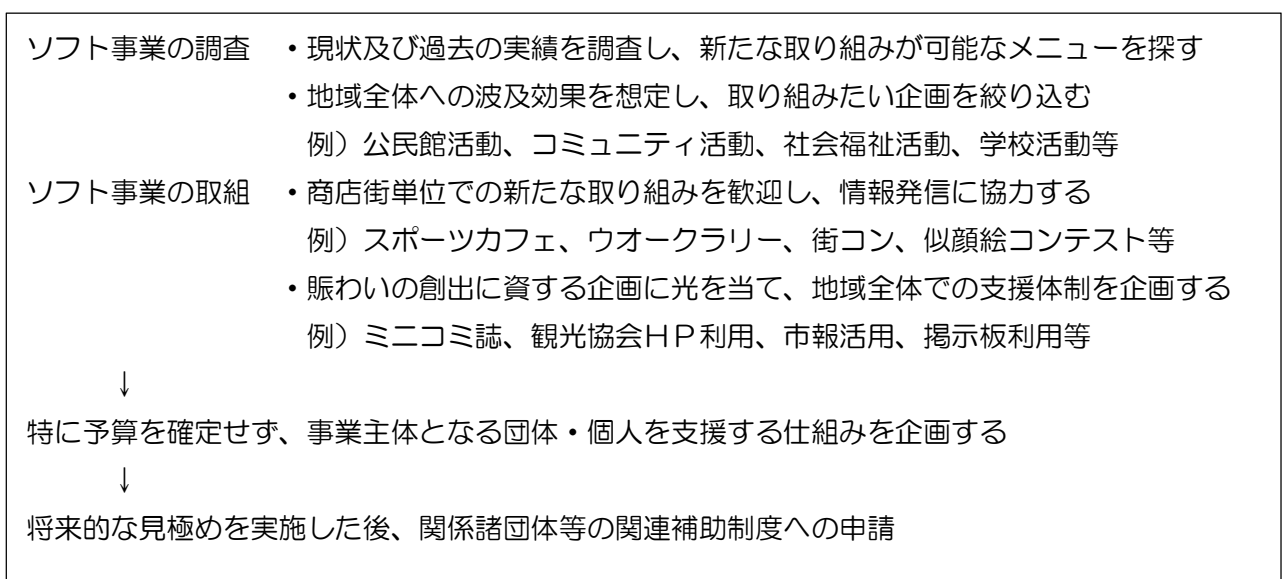
- 平成25年度「まちなか賑わい事業報告」を尊重し、中長期的な視点で検討すべき。

## ●提案書

### 具体案A. 商店街内の新しい拠点の開設



### 具体案B. イベントに絡めた新しいソフト事業活動





## 具体案C. 地域と若者とをつなぐ新しいコミュニケーションツール

- 新たなツール調査
- ・若者が利用するツールと、地域が可能なツールを調査する  
例) SNS、インスタグラム、フェイスブック、ツイッター、LINE、医療福祉大学学友会の一斉メール、
  - ・コンテンツや情報発信内容の質・量について検討する  
例) イベント案内、アルバイト求人情報、特典・割引・プレゼント情報
  - ・新たな掲示板設置等についても具体的な予算管理方法等を調査する



平成28年度「商店街若者協働プロジェクト事業」にて、新チームによって検討開始



事業主体による関係各課及び関係諸団体等の関連補助制度への申請



事業主体による活動開始 (平成29年 4月～)

## 具体案D. 居住環境の改善を含む世代間交流

- 世代間交流の視点
- ・具体案Aの「地域拠点」を活用して世代間交流及び国際交流が可能  
例) コミュニティカフェ、地域リビング、国際交流カフェ
  - ・具体案Aの「地域拠点」の活動を促進する視点から、地域内空家を活用し若者用シェアハウス及び地域の高齢者による管理業務等の交流も可能
  - ・空き店舗利用の「地域拠点」に限らず、公園等の公共用地を利用した集客可能な施設運営の方法についても検討可能(子育て分野、街歩き分野)

- 居住環境改善
- ・基本的には、平成25年度「まちなか賑わい事業報告」を尊重し、区役所本館跡地の利用を前提に具体案を検討し、事業計画を目指す。  
例) サービス付高齢者住宅、若者用シェアハウス、温浴施設、レストラン  
コミュニティビジネスのプラットフォーム、子育て支援施設、地域包括支援拠点、サテライトキャンパス等学びの施設
  - ・県営団地における空き室利用を含めた若者の居住環境改善の方向を検討
  - ・地域内空家を活用した若者用シェアハウス及び地域の高齢者の茶の間としての活用法についても調査研究を進める



新たな区役所整備計画のスケジュールに合わせ、地域での検討会を提案する



「区役所本館跡地利用計画」の提案書を具体化する (実施年度未定)

## H27年度 若者と連携した魅力ある商店街づくり事業

## 予算・実績 対比表

豊栄駅前商店街振興組合

担当理事 横山 正隆

平成28年 3月31日予想

	予算	実績	差額	補正	最終
<b>【収入の部】</b>					
北区産業振興課	324,000	0	-324,000		324,000
豊栄駅前通商店街振興組合	200,000	0	-200,000	-66,530	133,470
(株)まちづくり豊栄	200,000	200,000	0		200,000
収入合計	724,000	200,000	-524,000		657,470
<b>【支出の部】</b>					
学生チームアルバイト料	150,000	147,000	-3,000		147,000
学生チーム研修会費用	60,000	15,000	-45,000		15,000
ホームページ登録変更料	100,000	63,720	-36,280		63,720
学生チーム先進地視察	70,000	40,000	-30,000		40,000
合同検討会場茶菓費	30,000	31,750	1,750		31,750
意見集約費 計	410,000	297,470	-112,530		297,470
資料作成費	100,000	180,000	80,000		180,000
事務費コピー代	60,000	105,000	45,000		105,000
WS会議会場費	50,000	40,000	-10,000		40,000
事務局費 計	210,000	325,000	115,000		325,000
シンポジウム資料作成費	30,000	0	-30,000		0
シンポジウム資料印刷費	30,000	0	-30,000		0
最終報告書作成費	20,000	15,000	-5,000		15,000
最終報告書印刷費	20,000	20,000	0		20,000
報告書作成費 計	100,000	35,000	-65,000		35,000
予備費	4,000	0	-4,000		0
支出合計	724,000	657,470	-66,530		657,470

●活動状況

◎学生チームWS



第一回学生チームWS



第四回学生チームWS



第六回学生チームWS

◎合同検討会



第1回合同検討会



第2回合同検討会



第3回合同検討会

◎各種研修会



学生チーム研修会



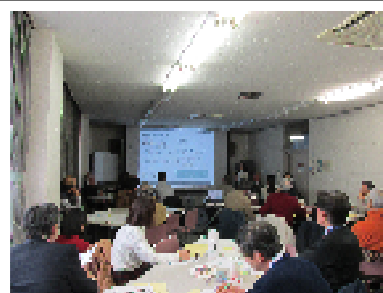
とよさか未来塾CB入門講座



首都圏先進地視察研修



学生チーム研修会



とよさか未来塾CB入門講座



首都圏先進地視察研修

●参加者名簿

◎学生チーム

	氏名	所属
1	渡部 陽呂代	医療福祉大4年
2	鹿野 愛恵	医療福祉大1年
3	深谷 実里	医療福祉大1年
4	佐々木 陽菜	医療福祉大1年
5	夏井 貴人	医療福祉大2年
6	川村 ともみ	医療福祉大2年
7	小林 静香	医療福祉大2年
8	今野 佑紀	高志中等一貫高2年
9	菅野 亘	医療福祉大3年
10	石黒 咲	医療福祉大OB
11	島倉 晶志	駅前通商店街

◎合同検討会

	氏名	所属
1	長井 桂一郎	駅前通商店街理事長
2	佐藤 隆昭	駅前通商店街副理事長
3	豊崎 善弘	駅前通商店街理事
4	島倉 尚志	駅前通商店街理事
5	横山 正隆	駅前通商店街理事
6	渡辺 陽一	駅前通商店街
7	森田 愛子	駅前通商店街
8	横山 とねよ	駅前通商店街
9	佐藤 村夫	(株)まちづくり豊栄
10	上杉 茂弘	商工会青年部
11	善宝 晋場	商工会青年部
12	印南 広明	商工会青年部
13	小林 真樹	商工会女性部
14	小日向 克司	葛塚中央コミュニティ
15	川崎 信	葛塚中央コミュニティ
16	小柳 聡	新潟北青年会議所
17	岡田 史	新潟医療福祉大学
18	大屋 秀樹	豊栄地区公民館
19	川近 和雄	豊栄地区公民館
20	白井 孝明	北区社会福祉協議会

◎事務局

	氏名	所属	
1	横山 正隆	豊栄駅前通商店街振興組合 理事	事業企画・運営
2	豊崎 善弘	豊栄駅前通商店街振興組合 理事	会計
3	島倉 尚志	豊栄駅前通商店街振興組合 理事	事業運営
4	横山 とねよ	豊栄駅前通商店街振興組合	事業運営
5	佐藤 村夫	(株)まちづくり豊栄 事務局	事業支援
6	松田 昇	新潟市北区産業振興課 係長	
7	吉澤 裕太	新潟市北区産業振興課	